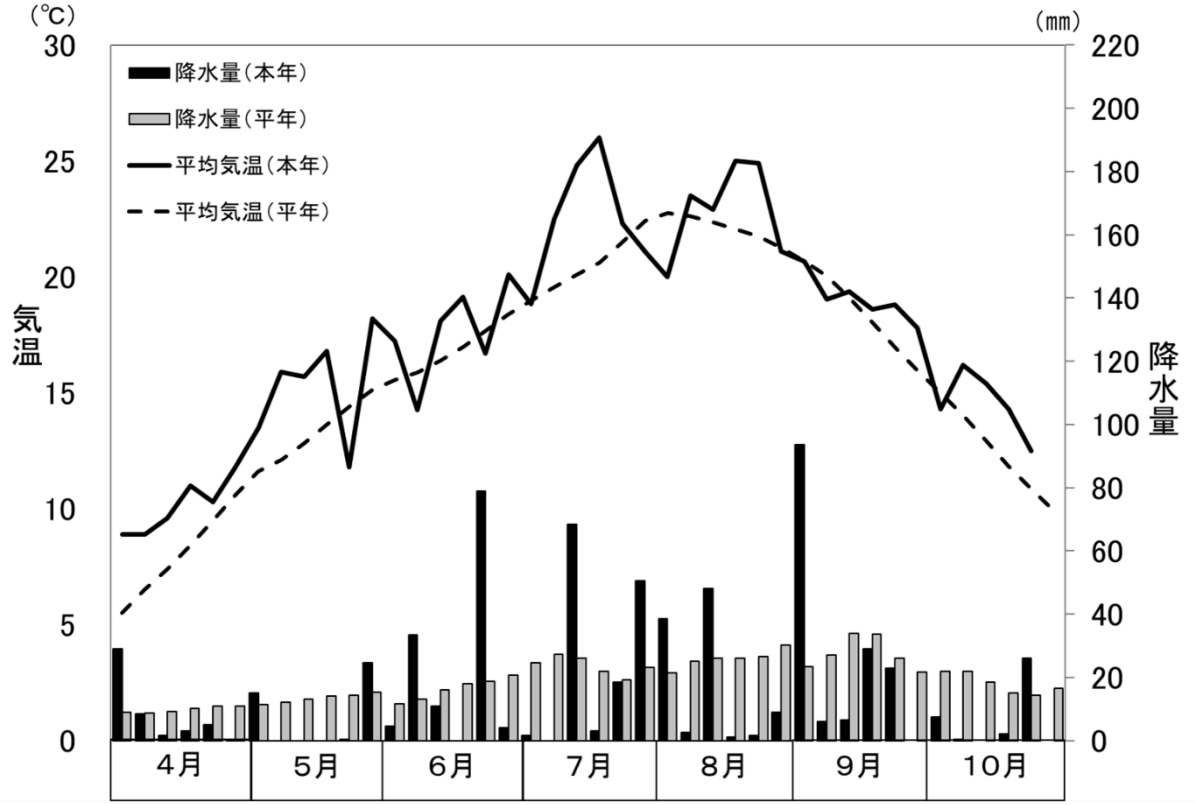
上北農業生産情報 第７号

令 和 ８ 年 10 月 30 日
青森県上北農林水産事務所

○ 農作業の安全につとめましょう！！

【クマの出没に注意してください！】
○９月以降、管内ではツキノワグマの目撃情報が相次いでいます。
○遭遇した場合は落ち着いてください。背中を向け走ることは大変危険です。
○屋外での作業は複数人でするほか、ラジオやクマ鈴などを携帯してください。
○作業に夢中になりすぎず、周辺を確認し遭遇しない対策を心がけてください。

気　象



半旬別平均気温・降水量の推移（十和田アメダス）

《９月》
・平均気温は、上旬で下回り、中・下旬では上回った。
・日照時間は、上・中旬は下回り、下旬は平年を大幅に上回った。
・降水量は、上旬は平年を大幅に上回り、中・下旬は平年を大幅に下回った。

【９月の気象（十和田アメダス）】

項　目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間ｈ		降水量 ㎜	
	本年	平年	**本年**	平年	**本年**	平年	**本年**	平年	**本年**	平年
上　旬	**19.9**	20.4	**24.4**	25.2	**15.9**	16.3	**37.8**	44.1	**99.5**	50.5
中　旬	**19.0**	18.6	**23.5**	23.7	**15.5**	14.0	**32.0**	46.4	**35.5**	67.5
下　旬	**18.3**	16.5	**23.9**	21.8	**12.8**	11.4	**68.7**	48.5	**23.0**	47.6

注）気温は 10 日間の平均、日照時間と降水量は 10 日間の合計

《10 月上中旬》

・平均気温は、上・中旬をとおして平年を上回った。
・日照時間は、上旬は平年を上回ったが中旬は平年をやや下回った。
・降水量は、上旬・中旬は平年を大幅に下回った。

【10 月の気象（十和田アメダス）】

項　目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間ｈ		降水量 ㎜	
	本年	平年	**本年**	平年	**本年**	平年	**本年**	平年	**本年**	平年
上　旬	**15.2**	14.5	**21.7**	20.0	**8.9**	9.3	**68.0**	47.0	**8.0**	43.8
中　旬	**14.8**	12.4	**20.5**	18.2	**9.1**	6.8	**43.6**	52.2	**2.0**	33.7

注）気温は 10 日間の平均、日照時間と降水量は 10 日間の合計

東北地方　１か月予報（10 月 31 日から 11 月 30 日までの天候見通し）

令和８年 10 月 29 日　仙台管区気象台発表

〇平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
〇平均気温は、平年並または低い確率ともに４０％。
〇降水量は、平年並または多い確率ともに４０％
〇日照時間は、平年並または少ない確率ともに４０％。

水　稲

《作況･作業進捗状況》

１　東北農政局が 10 月 13 日に公表した９月 25 日現在の水稲の予想収穫量は、青森県全体で 600kg/10a、作況単収指数*が 102、「南部･下北地帯」は 568kg/10a、作況単収指数*が 103 となっている。

＊作況単収指数：生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した 10ａ当たり収量の前年産までの５か年中、最高、最低を除く３年平均に対する 10ａ当たり収量の比率

２　管内の刈取最盛期（50%進ちょく）は平年より３日早い 10 月１日で、刈取終わり（95%進捗）は、平年より２日早い 10 月 13 日であった。

《今後１か月間の主な作業》

稲わらは、家畜の飼料や堆肥等に有効活用する。なお、秋にすき込む場合は、地温が低くなると腐熟が遅れるのでできるだけ早めに行う。

大　豆

《生育状況》

１　生育観測ほの成熟期は、平年より２日遅い 10 月 14 日であった。

《今後１か月間の主な作業》

１　収穫が遅れるとしわ粒や紫斑病などの被害粒が増加し、収量や品質が低下するため、適期に収穫する。

※　コンバインによる収穫適期は、成熟期から数日間立毛状態のまま乾燥させ、茎水分 50%以下、子実水分 20%以下になった時期で、主茎を爪でこすっても皮がむけない頃。

２　収穫作業は、朝露が乾いてから行う。
３　汚損粒発生を防止するため、以下の点に留意する。
ア　雑草や青立ち株は、茎汁による汚損の原因となるので、収穫前に必ず抜き取る。
イ　コンバイン収穫では、土のかみ込みを避けるため、無理に地際部まで刈り取らない。

小　麦

《生育状況》

１　生育観測ほのは種は、平年（９月 29 日）より９日遅い 10 月８日であった。
２　一般ほ場は、９月 24 日から播種が始まり出芽は良好である。

《今後１か月間の主な作業》

１　地表面排水を促進するため明きょを設置する。
２　耐倒伏性の向上や凍霜害を防ぐため、生育の旺盛なほ場は 11 月中旬までにローラー等で麦踏みを行う。ただし、粘土質土壌や転作田などの排水の悪いほ場は、生育が阻害されるので行わない。
３　雪腐病の薬剤散布は、11 月中旬から下旬を目安に行う。なお、散布後に一度積もった雪が溶けても再散布の必要はない。

ながいも

《生育状況》

１　生育観測ほの 10 月 10 日現在の新いもの生育は、全長及び全重は平年並となっている。いも径は平年を上回っている。
２　葉渋病や炭そ病の発生が見られるほか、ナガイモコガ、コガネムシ類の食害も見られる。

【生育観測ほの生育状況(種いも：１年子芽付き)】

調査地	年次	植付日(月/日)	新いも		
			全長(cm)	全重(g)	いも径(mm)
東北町滝沢平	**本年**	**5/12**	**82.3**	**1,229**	**65.7**
	平年	5/ 9	78.4	1,240	58.3
	前年	5/14	92.0	1,960	62.8

注）平年値は平成 28 年～令和７年までの平均値

《今後１か月間の主な作業》

１　茎葉が完全に黄変し、試し掘りでアクが発生しないことを確認してから収穫する。
２　雨天など過湿なほ場条件での収穫作業は、貯蔵中の腐敗を招くので行わない。
３　ながいもネットは野焼きせず、ＪＡ等による回収処理又は直接産業廃棄物処理業者へ搬入する等適正に処理する。

にんにく

《生育状況》

1　管内の植付け作業は 10 月初旬から始まり、植付け盛期は 10 月 11 日、10 月下旬でほぼ終了した。

2　萌芽揃いは植付けの概ね３週間前後となるが、植付けが早いほ場では、本葉２～３枚程度に達している。

《今後１か月間の主な作業》

1　萌芽が揃ったら、芽出し作業を行う。

2　降雨時の排水対策として明きょの設置を行う。

3　本葉３～４枚程度に達したほ場ではウィルスの秋期感染を防止する。黄変したながいも茎葉等からのアブラムシ類の飛翔盛期に当たる 10 月下旬から 11 月上旬を目安に殺虫剤を散布する。

露地ねぎ

《生育状況》

1　生育は、例年並の茎の太さを確保しており、概ね順調である。

2　病害虫は、斑点性病害が発生している。

《今後１か月間の主な作業》

1　葉鞘の軟白状況（軟白 30cm 以上）を確認し、適期収穫をする。

秋だいこん

《生育状況》

1　は種期が平年より３日早く、生育が進み収穫期は 12 日早い９月 28 日となった。

2　収穫時の生育は、地上部の葉長は平年並だが、生葉数は平年をやや下回った。地下部の根長、根重及び根径は平年並であった。

【生育観測ほの９月 28 日 収穫調査結果（品種：S-139）】

調査地	年次	は種期（月/日）	収穫期（月/日）	葉　長（cm）	生葉数（枚）	根　長（cm）	根　重（ｇ）	根　径（cm）
東北町栗山添	**本年**	**8/ 3**	**9/28**	**45.5**	**20.4**	**35.7**	**1,097**	**7.1**
	平年	8/ 6	10/10	46.0	22.7	35.5	1,078	7.1
	前年	8/11	10/ 6	47.4	26.1	42.9	1,396	7.6

調査地	年次	収量（kg/10a）	品質･規格別割合（%）					
			A品	B品	2L	L	M	S
東北町栗山添	**本年**	**7,265**	**42.0**	**49.3**	**36.3**	**35.4**	**16.0**	**3.6**
	平年	8,213	55.8	40.1	33.7	35.2	21.2	5.1
	前年	9,057	28.5	71.5	88.5	9.3	0.0	2.2

注）平年値は平成 28 年～令和７年の平均値

注）今年度から担当農家を変更したため、平年は参考値

《今後１か月間の主な作業》

１　収穫適期は品種や作型によって異なるが、播種後 55～60 日位を目安に収穫する。

２　ほ場ごとに試し掘りを行い、１本当たり重量が１～1.2kg を目安に収穫する。

りんご

《生育状況》

１　生育観測ほの「ふじ」の 10 月 21 日現在における果実肥大（横径）は 8.6cm で平年比 100%、前年比 104%となっている。

２　黒石市（りんご研究所）の 10 月 11 日現在における果実肥大（横径）は 9.0cm で、平年比 103%、前年比 108%となっている。

【生育観測ほの生育状況(品種：ふじ)】

調査地	10 月 21 日現在の果実肥大(横径)				
	本年(cm)	平年(cm)	平年比(%)	前年(cm)	前年比(%)
十和田市米田	8.6	8.6	100	8.3	104

注）平年値は平成 28 年～令和７年の 10 か年平均値

《今後１か月間の主な作業》

１　晩生種の収穫

10 月 19 日現在の黒石市（りんご研究所）のふじの熟度は、有袋、無袋ともに平年よりやや進んでおり、収穫始めは、ふじの有袋が 10 月 27 日頃から、無袋が 11 月 1 日頃からと見込まれる。自園の果実の状況を確認し、早もぎせず、味をのせてから収穫する。

また、つる割れは、気象経過から多発する可能性は低いと予想されるが、肥大が平年を上回っている園地は注意する必要がある。加えて収穫が遅すぎると貯蔵中の内部褐変が心配されるので、11 月 15 日頃までに収穫を終えるようにする。

２　風害防止対策

強風に備え、防風網の点検・補修など風害防止対策をしっかり行う。

牧　草

《生育状況》

１　生育観測ほ（オーチャードグラス）は、平年より 13 日遅い９月 25 日に３番草を収穫し、10ａ当たり乾物収量は平年比 132%の 252kg となった。１番草から３番草までの合計乾物収量は、平年比 114%の 883kg であった。

【生育観測ほの生育状況（オーチャードグラス）】

調査地	年次	１番草		２番草		３番草		合　計
		刈取日(月/日)	乾物収量(kg/10a)	収穫日(月/日)	乾物収量(kg/10a)	刈取日(月/日)	乾物収量(kg/10a)	乾物収量(kg/10a)
十和田市米田	本年	5/22	466	7/15	165	9/25	252	883
	平年	5/22	370	7/17	215	9/12	191	776
	前年	5/23	291	7/18	179	9/12	224	694

注）平年値は平成 28 年～令和７年の 10 か年平均値

《今後１か月間の主な作業》

堆肥や土壌改良資材を散布して土づくりに努める。

飼料用とうもろこし

《作柄状況》

生育観測ほの乾物収量は平年比 121％の 2,028kg/10a、ＴＤＮ収量は平年比 119％の 1,417kg/10a であった。

【生育観測ほの作柄状況（品種：スノーデント 110 日）】

調査地	年次	刈取月日（月/日）	熟　期 熟期	生草収量（kg/10a）	乾物収量（kg/10a）	TDN 収量（kg/10a）
東北町北栄	**本年**	**9/ 7**	**糊熟後期**	**8,140**	**2,028**	**1,417**
	平年	9/19	―	5,191	1,679	1,188
	前年	9/10	糊熟中期	6,610	2,429	1,733

注）平年値は、平成 30 年～令和７年の平均値